

いのちを守る



新型コロナ禍の
こころのケア
新型コロナウイルス感染症の流行は
私たちの日常生活を大きく
変化させました。
そうした変化は、人間関係や個人の
こころにも影響を与えています。
コロナ禍においてメンタルヘルスを
どのように維持していくのか、
一緒に考えてみませんか。



参加方法

Googleフォームによる事前申込

2/3(木)まで

下記QRコードよりアクセスしてください



日時 2022年 **2月13日(日)** 14:00~16:00

場所 Zoomによる **オンライン開催**

話題提供者

コロナ禍におけるストレスの影響 ~ストレスチェックデータより

山根 英之氏 | 一般財団法人京都工場保健会 専任カウンセラー / 臨床心理士 / 産業カウンセラー

京都工場保健会の専任カウンセラーとして、企業や自治体で従業員のメンタルヘルスケアや働きやすい職場づくりのためのコンサルテーションや研修の企画・実施も手掛ける。京都における産業心理職のバイオニア的存在。

支える人と支えられる人のセルフケアについて—レジリエンス力を維持する—

高田 みぎわ氏 | 私立小学校・中学校・高等学校スクールカウンセラー / 臨床心理士 / 公認心理師

1981年大学院生だった時期に京都いのちの電話立ち上げに関わり、10年間事務局を担当した。医療機関、教育相談機関、学校での心理相談を行なうかたわら、ストレスマネジメント教育、レジリエンス教育等の心理教育にも取り組んできた。日本ストレスマネジメント学会会員。

指定討論者

内田 利広氏 | 龍谷大学 教授 / 臨床心理士 / 公認心理師

京都教育大学で、26年間教員養成に関わり、教員のSCとの連携や生徒指導について研究・指導を行う。また、SCとしても12年ほど中学校に勤務し、不登校やいじめの問題、さらに保護者への支援についても造詣が深い。

●座長

濱野 清志氏 | (一社)京都府臨床心理士会 会長 / 京都文教大学 教授

京都大学法学部および教育学部を卒業後、大学院で臨床心理学を学ぶ。1990年から九州大学助教授として学生相談に携わり、2002年から現職。「気」の研究によって京都大学博士(教育学)を取得。長年、心理臨床の実践とともに気功の実践と指導も行なっている。